

第1回全体会 会議報告

日時：令和7年7月31日（木）

14：00～15：15

場所：益田市立市民学習センター多目的ホール

1 開 会

【事務局】（定足数の確認）

委員24名のうち16名出席。規則第5条に規定する定足数を満たしていることを報告。

欠席委員：山口委員、山鳥委員、梶浦委員、落合委員、中島克仁委員、露口委員、
川本委員、池永委員

2 和崎部長あいさつ

皆さんこんにちは。益田市福祉環境部の和崎と申します。開会にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。本日はお忙しい中、令和7年度第1回益田市障がい者自立支援協議会全体会にご出席いただきましたこと、協議会委員をお引き受けいただきましたことに心から感謝申し上げます。

また、皆さま方には平素より、本市の障がい者福祉サービス推進に対しましてご理解、ご協力を賜わっていることに対して改めてお礼申し上げます。本日の会議におきましては、令和6年度からの3年間を計画期間として策定しています第7期益田市障がい福祉計画、また、第3期益田市障がい児福祉計画の進捗状況等について、ご説明させていただきます。皆さま方には、それぞれのお立場から、忌憚のないご意見をいただければと思っております。本日は、よろしくお願いいたします。

3 辞令交付

【事務局】あらかじめ辞令書を席におき、ご確認いただき、辞令交付に代える。

4 委員紹介

名簿の順に一言ずつ自己紹介。

5 会長・副会長の選任

会長：ラポール宝生苑 牧原施設長 副会長：エスポア 中島所長

【牧原会長挨拶】平成20年10月より相談支援業務に携わり、以降、本協議会での様々な取組に関わらせていただいております。新型コロナウイルス感染症の流行前には様々な活動が行われ

ていましたけれど、ここ数年、活動に制限がありました。この度、会長に拝命されましたので、より一層の努力をしてまいりたいと思いますので、皆さま、宜しくお願いいたします。

【中島強志副会長挨拶】就労部会の方で、圏域の社会参加の部分で関りを持たせていただいていたが、副会長として、会長のサポートをしっかりやっていきたい。どの分野でも、どの圏域でも同じだが、制度狭間の人たちがなかなか利用しにくい、出来ない現状を地域の中でどのようにしてフォロー、サポートしていくかを、この協議会の中で皆さまのお力を借りながら、特に障がいのある方が住みよい街として益田市がなれるように、皆さまのご協力をいただきながら進めていければと思っています。よろしくお願いいたします。

6 益田市障がい者自立支援協議会の概要について

【事務局】安心いきいきプラン、資料1に沿って、益田市障がい者基本計画、益田市障がい福祉計画、益田市障がい児福祉会、及び自立支援協議会の体制について説明。

【委員】意見なし。

7 議 事

(1) 第7期益田市福祉計画、第3期益田市障がい児福祉計画の進捗について【報告】

【事務局】資料2、安心いきいきプランに沿って、計画の進捗状況について説明。

【委員】意見なし。

(2) 基幹相談支援センターの活動状況及び今後の予定について【報告】

【事務局】資料3に沿って、活動状況及び今後のよていについて説明。

【委員】意見なし。

(3) 専門部会の構成について

【事務局】資料4に沿って現在3部会ある専門部会を2部会に変更したいというもので、具体的には、今ある障がい理解促進部会と就労・社会参加支援部会を一つの部会にさせていただくという内容です。

専門部会については、昨年度の第1回目の会議において、委員の皆さまに部会の所属希望調査をし、2回目の協議会において3部会で継続するという事で確認をしておりましたので、改めて提案させていただきます。

理由としましては、部会等の活動については、協議会の開催が遅れたこともありますが、にも包括も新たに加わったこともあり、障がい者福祉課の体制上、部会を円滑に実施することが難しいことと、人事異動等により、多くの部会長及び副部会長が変わったことにより、現体制を維持するのが難しい、また、部会とにも包括の両方を兼ねている委員さんも居られ、負担と

なっていることから事務局内で協議を行い、今回の提案となりました。

そして、委員の皆さまの部会の所属については、まず、にも包括について、昨年度のメンバーを中心に人選を行った後、改めて部会の参加希望を募りたいと考えており、基本的に部会とにも包括の両方を兼ねることがないようにしたいと考えております。その後、会長、副会長、事務局で部会長の打診を行い、規則に則り、牧原会長から部会長を指名していただきたいと考えています。また、2つの部会には基幹相談支援センターの職員も事務局として参加していただき、事務局の体制強化を行いたいと考えております。

【委 員】意見なし。

【会 長】事務局案に賛成の方、拍手をお願いします。

※拍手多数により承認。

(4) 安心いきいきプランに基づき、優先して取り組むべき課題について

【事務局】資料5に沿って説明。過去の協議会においてなかなか意見が出にくいこともあり、昨年度の第1回協議会の開催前に、委員の皆さまに事前に安心いきいきプランに基づいた課題とその理由を求めたものを一覧にし、その後、どのように取り組をしていくかを運営会議で決め、昨年度の第2回目に提示したものと同じものです。新しく委員になられた方もおられますので、改めてお示しさせていただきましたので、ご確認いただければと思います。

なお、取組等が空欄になっております障がい児支援についてですが、今年度から、イレブンの三浦さんに新たに委員に加わっていただいておりますので、あゆっこの古川委員も含めて、事務局も含めて今後の取組を考えていければと思います。

【委 員】意見なし

【会 長】資料5のほか、委員の皆さまそれぞれの立場から感じている課題など、第1回目の協議会で意見を言いにくいかもしれないが、協議会に聞いてみたいことを一言ずつでも構わないのでご意見いただければと思います。

【藤井委員】人材育成の面で、現場があってなかなか研修や中での教育が困難なことが多く、スキルアップが難しい。この協議会の中で何か出来ればと考える。

【若杉委員】前所長が辞めて急遽所長になった。しばらく現場を離れていたもので、もう少ししたら意見を言いたい。

【三浦委員】初めての参加だが、安心いきいきプランを拝見したが、3年スパンの中で、いろいろなデータの集積があるが、これ以上数値が上がっているとか、現場にいて感じる肌感覚を発言できればと思う。

【古川委員】会議に参加して5年経つが、協議会の人材育成部会に所属している。福祉サービスをどのように続けていくか、福祉の人材育成というところで、みなさんが辞めないで続けていけるかの協議をして、研修や新人さんの話を聞かせてもらった。今後も協力してやっていきたい

し、私は児童が中心なので、大人の方や就労の方の話を聞く機会が協議会にあるので大変参考になる。

【檜谷委員】安心いきいきプランは、幅広い内容で、昨年度資料にあるように集約したのは良い取組であると思う。協議会は意見を集約する貴重な場であるので、事前に意見を出してもらいたい等の話があれば良かったと思う。人材育成や人材の定着、相談支援の体制の拡大等難しい問題がある。あと、災害の関係、在宅者の個別避難計画も含めて対応していかないといけない。また地域生活拠点の問題も、残り3つの機能をどう展開していくのかも今年度の計画として考えていきたい。

【福原委員】人材確保と人材育成が課題。障がいのサービスは、国家資格があれば評価されるが、サビ管とかは、国家資格だけではなく、実務経験があって、しっかりと研修も受けないといけない。数年スパンで考えていかないといけないが、その中で人材確保し、育成することが難しい。

【後藤委員】ここ数年、グループホームに空室が出るようになった。今、実際に3室空いていて、満床にならない状況が続いている。養護学校の先生との話の中で、今までの利用者さん、障がい特性とまた違う特性を持った子供たちが養護学校にも入学してきており、今までのグループホームでは対応できないケースもある。個室は当たり前だが、アパートタイプ、民間の賃貸で古かったりするとニーズに合わなくなっている。市の方と、共同生活ホームの問題もある。こういうグループホームが利用者さんにとって良いのか、こういったニーズに合わせて造っていいかは良いのかも考えていかないといけない。

【中島強志委員】就労支援をしていく中で、本人だけの問題ではなく、家族が原因であったり、周りの人たちの中で本人の就労がうまくいかない。課題として一家で問題があり、対応が複雑になっているケースが多くなっている。障がいの分野だけではなく、高齢者福祉の分野での関わりもあり、一家をどう支えていくか、他の機関との連携も必要かと思う。後は、児童から成年まで、切れ目のない支援といわれるが、現実にはプツリ、プツリと支援が切れ、一貫して流れているケースが少なく、繋がっていないケースがあり、うまく出来る仕組みを考えていきたい。

【小川委員】昨年度まで、津和野町の自立支援協議会の委員をさせていただいていた。今回、益田市ということで、行政規模も違うので勉強しないといけないと感じながら、意見を聞かせてもらった。精神科なので、にも包括の部分が大きいかなと思う。県の補助事業を使って、この2年間、中央から講師の先生を招いて研修会をやっている。今年度についても10月3日、金曜部に埼玉県NPO法人自立から先生を招いて研修する予定で準備している。詳細が決まれば皆さんにもご案内したい。

【川崎委員】4年目、就労・社会参加支援部会に参加している。なかなか就労に繋がらないケースがあり、具体的な就労支援に繋げていきたい。

【大槻委員】初めての参加で何を話したらよいか分からない。様子を見ながら話しができればと思

う。

【澤江委員】益田地域家族会の関連4団体の連合会が来月開催される。その中で出た意見を協議会の中で反映できればよいと思っている。

【水上委員】難病の方は状態が変化していき、就労していても意欲がなくなる。必要な検査や医療を受けられる環境づくりが必要。就労したいけど出来ない問題がある。みなさんの支援をお願いしたい。

【石田委員】人材育成についてたくさん意見が出たが、同じように感じている。必要な医療が受けられる体制づくりもあげられているが、発達障害の人たちに何かできることがあれば良い。益田地域の場合、子供の医療が少し受けにくくなってくるのではないかと思う。初診までの待機期間が3、4か月待ちになっていると聞いている。ドクターを増やすことは難しいが、かかりつけ医の段階で出来る相談や、初診までの親御さんの不安を和らげる、子どものサポートなどを取組めていければと感じている。

【寺戸委員】民生委員としていろいろな相談を受けている。民生委員は高齢者の問題については包括支援センターに馴染みがあるが、基幹相談支援センター、障害福祉サービスについてはなかなか馴染みがない。民生児童委員の任期は3年、11月30日に役員選挙がある。新しい委員にも、話を聞く機会があればよいと思っている。

【牧原会長】急に話を振ってすいません。それぞれの立場から貴重なご意見をいただきありがとうございます。資料5にありますようにそれぞれ課題がありますので、今回出た意見も踏まえて全体会で共有出来たらと思います。予定していた議題は以上ですので、進行を事務局にお返しします。皆さまのご協力ありがとうございました。

8 その他

【中島強志委員】今年度から圏域で就労移行支援事業が機能していない。これまでの制度では、就労経験のない方がB型事業所のサービスを受ける際に、就労における課題等の把握がなされていないと、いきなりは利用出来ない中で、これまでは就労移行支援事業で対応していたが、当法人の事業休止に伴って、それに替わるアセスメントをとる機関としてエスポアの方で暫定的に対応することになった。本来であれば10月から就労選択支援事業が始まり、幅広い視点からアセスメントをとる予定であるが、現状のところでは、見通しが立っていない。今後については、市、県と相談して対応していきたい。

9 閉会